



進路通信

-よりよい進路をめざして-

令和5年2月28日 第8号

県立こやの里特別支援学校

進路指導部発行

～高等部「卒業生を迎えての懇談会」を実施～

2月8日（水）に、進路先で頑張っている卒業生から話を聞く「卒業生を迎えての懇談会」が行われました。今年は高等部全学年と分教室の生徒も参加の行事となりました。当日は2名の卒業生にお越しいただきました。また、2名とも本校を卒業した後、訓練校を経て企業へ就労したので、訓練校の指導員の方にもお越しいただきました。さらに2名の卒業生に動画出演していただきました。

当日は、新型コロナウイルス感染予防対策として会場を分散し、2名の卒業生と訓練校の指導員の方には、3年生と2年生に対して、インタビュー形式で2回お話をしていただきました。また、1年生は3年生の会場での様子をオンラインで視聴し、分教室の生徒は後日録画したものを視聴しました。

2名の卒業生には、最初に自己紹介をしていただき、業務内容や通勤方法などのお仕事のこと、相談できる人やストレス発散方法などのメンタルのこと、最後に後輩に対してのアドバイスなどを話していただきました。また、訓練校の指導員の方には、卒業生の在校時の頑張りの様子や訓練校のことを話していただきました。お二人とも職場で相談できる人がいることや健康や安全に気を付けていること、また趣味などを通してしっかりとリフレッシュしている話が印象的でした。また、高等部時代に身につけておいた方がいい力を尋ねたところ「元気な挨拶」が大切と力強く答えてくれました。続けて「挨拶が大きくなれば話す声も大きくなる。」と実体験をもとに話をしてくださいました。他にも「その場で聞いてその場で覚えるのは難しいのでメモを取りましょう。」「社会人になっても学び続けるので、学ぶ姿勢を忘れないでほしい。」「仕事を始めてから新しく趣味を捜すのは大変なので、いまのうちに趣味を見つけておいたらいいと思う。」など、2名の先輩方からは、力強く伝えていただきました。また、2名の卒業生が実際に働いている動画や、B型事業所に進んだ2名の卒業生の就労の様子やインタビューの動画も視聴しました。4名の卒業生は、事務、スーパー、花屋、喫茶サービスなどの業務に携わっており、身をのりだすように映像を観ていた在校生もいました。



<来校していただいた卒業生>

（企業）株式会社スミセイハーモニー勤務

（企業）生活協同組合コープこうべ コープ行基店勤務

<動画出演していただいた卒業生>

（就 B）Lovely garden 勤務

（就 B）ソーシャルファームかがやき勤務

<来校していただいた訓練校指導員>

国立県営兵庫障害者職業能力開発校

阪神友愛食品株式会社 能力開発センター

裏面へ続く⇒

《在校生の振り返りシートより》

- 挨拶や相談をすることが大切だと思いました。
- 進路について色々働くのは少し不安がありましたが、今日の話聞いて楽しいこともあるんだと思いました。
- これからの日常やお仕事に役立てていこうと思います。
- 自分が将来働くために何が必要なのかを考えるきっかけになりました。
- 特に挨拶、言葉づかい、体調管理などを学校にいる今のうちにしていきたいと思いました。
- 先輩の話聞いて、私もりっぱな社会人になりたい。など、たくさんの感想が書かれていました。



《教員のアンケートより》

- 卒業生の生の声が聴けるととてもいい機会でした。講演後、在学生の中には進路についてイメージが持てたと言っていた生徒がいたので、内容的にもとても分かりやすく、とても効果的だったと思います。今学校でできることやこれからの課題もわかりやすく提示されていて良かったです。
- 卒業生のとてもしっかりした受け答えや言葉遣いに、とても感心しました。そのような先輩も在学中は今の生徒と変わらない部分があった、ということを知り、社会に出て経験を積むことでここまで成長できるのだ、という希望を感じさせてくれました。生徒にとっても将来をイメージするよい機会になったと思います。
- みなさん、とても立派でした。しかも、自分の苦手なところも話してくださり、それどのようにしていったのかなど、生徒にとっても励みになったのではないのでしょうか。

ありがとうございます



編集 後記

今回の「卒業生を迎えての懇談会」を実施するにあたり、①社会人として働く先輩から経験談を聞き、アドバイスを受ける機会とする。②こやの里の先輩に卒業後の仕事や生活について話してもらうことで、今後の進路への見通しが持てるようになる。また、課題を自覚するきっかけにする。というねらいを基に、高等部の全生徒が参加できるように準備を進めてきました。

内容や時間設定など、まだまだ改善は必要かと思いますが、生徒の振り返りシートにもあるように、私たちが想像していたよりたくさんの気づきがあったことがわかりました。また、先輩たちの働く姿の動画をよく見ており、その場の雰囲気を感じ取ってくれたのではないかと思います。

なによりも、卒業生から直接話を聴くことで、生徒たちに伝えたいことが届いたことと思います。卒業生の話でも「元気な挨拶」とありましたが、しっかりと挨拶できることが彼らの自信につながっているんだなと思えた瞬間でした。本校でも、高等部に限らず小・中学部のうちから「挨拶をしましょう」と指導しています。『進路通信』でも何度か紹介しましたが、進路指導室に毎日挨拶に来てくれる小学部の児童や私たちに話しかけられることに慣れ笑顔で応えてくれる児童生徒もたくさんいます。今から少しずつでも、挨拶や返事ができることで、より多くの人たちと関わりを持てるようになってほしいと思います。